佳ちゃんの部屋vo.2
〜愛妻家の野口さん〜

先日始動した社内広報プロジェクト「佳ちゃんの部屋」へようこそ。初回とは打って変わって、vol.2からは社内メンバーの一人一人にフォーカスしていきます。今回お越しいただいたのは、企画営業部の野口さん！これまでの生い立ちや、奥様との素敵なエピソード、そしてこれからの事についてもお話しいただきました。

名前：野口洋一
あだ名：のぐ
出身地：宮崎

これまで

——山口大学出身なんだ！

そうです。湯田温泉駅の近くにある大学で、教育学部に新設された文芸系のコースに入りました。映画サークルにも入って、大学生っぽくちょっとひねくれた作品を撮っていましたね。4年生の頃、三代目魚武濱田成夫という詩人に出会って、監督させてもらった映像がDVDとして発売されたのが良い思い出です。福岡シーホークホテルの客室前面を個人で貸しぢって、「俺」という文字を浮かび上がらせるプロジェクトだったんですけど、すごくいい経験になったなと思います。

——実家での家族構成は？

3人兄弟で、お姉ちゃんが2人いる末っ子です。年が離れていて可愛がられました。姉2人は離れたとこに住んでいます。父は5年前に亡くなっているので、今は母が1人でいてちょっと心配なんですけど、少しでも長く健康でいて欲しいです。ちなみに兄弟3人は、毎日朝晩電話しています。

——ほんとに!? すごいね。

朝家出たらとりあえず電話して、会社出たらまた電話したり。「おはよう、元気？」とか「行ってきます」くらいの短い会話をしますね。

現在

——今の家族は？娘とは仲良い？

奥さんと大学生の娘、高校生の息子がいます。よく自分の周りでも父娘関係の話題を耳にしますが、娘とも仲がいいです。ありがたいですね。

——趣味は？

ラジオ、お笑い、漫画が好きです。移動中と睡眠前はラジコかポッドキャストで芸人のラジオを聞いてます。お笑い芸人は、空気階段・ハライチ・オードリー・さらば青春の光・マユリカ・最シャリが好きですね。あと以元テレビ東京のプロデューサー佐久間宣行氏が好きで、テレビ、ラジオ、YouTubeまで追っかけています。漫画はジャンプからアフタヌーンまで、比較的浅く広く読んでいます。

それと痩せたいという想いだけはいつも胸に秘めていて、最近はケトルベルというダンベルを毎日ブンブン振ってます。

——お笑いは劇場にも見に行くの？

行きます！新宿ルミネの劇場とか。奥さんもお笑いがすごく好きで、この間は大阪の「なんばグランド花月」と、その向かいにある「よしもと漫才劇場」に行きました。

——直したい癖や習慣はある？

帰宅してご飯を食べたあと、一旦床（ゆか）に横になってしまいます。 さっと風呂にはいってさっさとベッドで寝ればいいのに！と家族にも言われますし、僕もそう思います……。 あと、電話の声が大きく、オフィス内で周りにご迷惑をおかけしていますので、抑えるよう気を付けています。

人生の転機

——人生のターニングポイントは？

24歳の時に奥さんと出会ったことが、人生で一番のターニングポイントです。環境の変化や決断をする際、「死にゃしないんだから」と、いつも全肯定してくれるので、人生が生きやすくなりました。子供先行型でのスピード結婚だったので、この出会いは僕の人生で一番幸運だったなと思っています。

——これさ、めちゃめちゃ（野口さんの）ポイントアップするよね（笑）奥さんとの出会いは？

先輩たちがクラブのイベントをやっていて、休みの日によく行ってたんですけど、クラブの酒って高いので、友達と飲っぱらってから行くようにしたんです。それで立ち寄った場所に奥さんがいて、一目惚れしちゃったんです。それで猛アタックしました。社会人になりたての、23歳くらいの頃ですかね。

仕事

——就職先は最初からイベント系だった？

いや、実は僕ちょっと間違えてこの業界に入ってしまっていて。本当は映像系の仕事をしたいなと思っていたんです。 最初に入った会社がレイグループなのですが、入社前にホームページを見ると映像やポスプロもやっているし、スタジオも持ってるので、 すごく代理店っぽく見えたんです。それで勘違いしたまま応募して受かって、入った後にイベント会社だったと判明しました（笑）。

——自分にとっての“仕事”とは？

ただ生きているだけでは生まれない関係性を生み出してくれるものです。 自分の生活の中では出会えなかった商品やサービスを知ることができるし、「仕事」のフィルターを通せば、会ってみたかった人、行ってみたかった場所、体験してみたかった事を実現できる事もあります。 もちろん、そんなに上手く行くことばかりではありませんし、 クライアントの課題解決や会社への粗利貢献は第一ですが、 人生の中で多くの時間を締める「仕事」が、仕事以外の時間へもポジティブな影響をあたえるような位置づけにあるものにしたいと思っています。

——Knotは今後どうなっていくと面白いと思う？

“社長＝Knot”だなって思います。社長がシュッとしていて眩しくて、エネルギーもすごくて、それが普通の会社には無いなと。だからといって社長みたいな人が社内にたくさん出てくるのが良いのかはまだ分からないですけど、社長にこのままずっと走り続けてもらえることが、会社的には一番良いんじゃないかなと思います。

仕事に全力投球の野口さん。プライベートではとっても家族思いで、奥様のことを心の底から大好きでいらっしゃる様子が伝わってきましたね。

次回は映像部の西山生成さんです！お楽しみに。